


平成21年3月期  
第2四半期(中間期)  
決算説明資料


平成20年12月12日

 東邦建株式会社



証券コード:1990

# 第2四半期(中間期) 決算概要

 **東邦建株式会社**

## 第2四半期(中間期)の総括

- 移動体通信工事が堅調に推移し受注高は増加
- 通信線路工事において、前期からの繰越工事が少なかったことや郡山エリアから撤退並びに下期への繰越工事の増加により売上高は減少

● 受注高	42億24百万円 (前年同期比 106.5%)
● 売上高	32億76百万円 (前年同期比 91.3%)

- 売上高の減少により固定費率が上昇し、利益を圧迫したことなどにより減少

● 営業利益	43百万円
	(前年同期比 57.6%)
● 経常利益	67百万円
	(前年同期比 67.2%)
● 中間純利益	46百万円
	(前年同期比 33.7%)

※前中間期は、税金費用が減少(評価減をした土地を売却)したことから、中間純利益に限っては、当中間期との差が大きくなっています。

# 損益計算書

(百万円)

	当中間期	前中間期	増 減
完成工事高	3,276	3,589	△313
完成工事原価	3,079	3,355	△276
完成工事総利益	197	233	△36
販売費及び一般管理費	153	158	△5
営業利益	43	75	△32
営業外損益	23	24	△1
経常利益	67	99	△32
特別損益	4	1	3
税引前中間純利益	72	101	△29
中間純利益	46	137	△91

# 貸借対照表

(百万円)

	当中間期	前中間期	増 減
流動資産	2,381	2,213	168
固定資産	2,435	2,438	△3
資産合計	4,817	4,652	165
流動負債	933	834	99
固定負債	715	699	16
負債合計	1,649	1,534	115
資本金	817	817	—
純資産合計	3,167	3,118	49
負債純資産合計	4,817	4,652	165

# キャッシュ・フロー

(百万円)

	当中間期	前中間期	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△26	323	△349
投資活動によるキャッシュ・フロー	34	166	△132
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29	△49	20
現金及び現金同等物の期末残高	657	776	△119

## 主な要因

(営業活動に使用したキャッシュ・フロー : 26百万円)

主に、工事代金の支払による支出

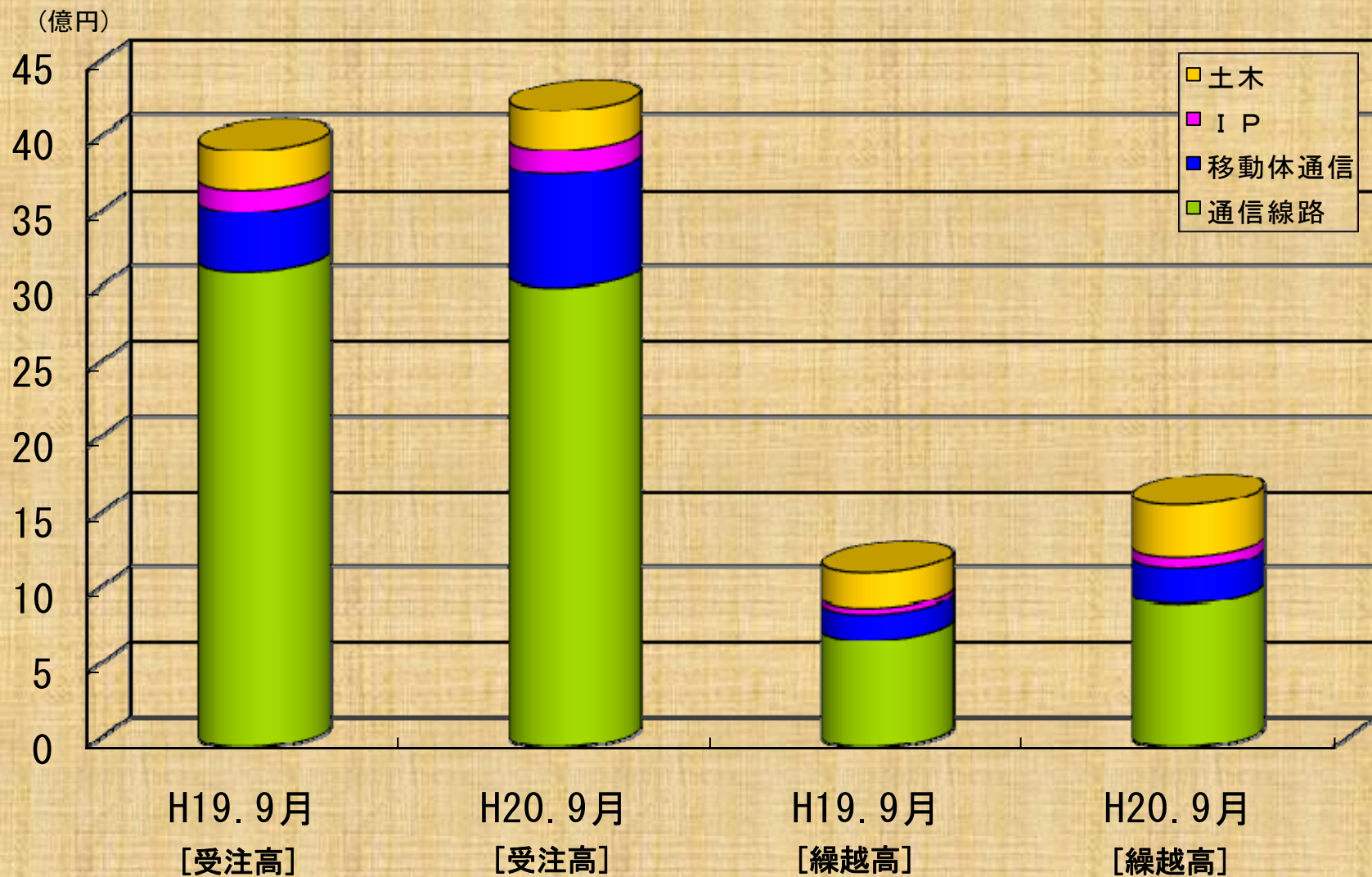
(投資活動によって得られたキャッシュ・フロー : 34百万円)

主に、定期預金の満期による収入

(財務活動に使用したキャッシュ・フロー : 29百万円)

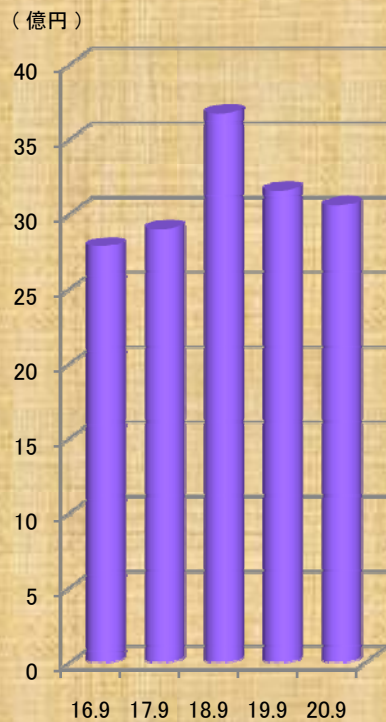
主に、配当金の支払による支出

# 受注高、繰越高

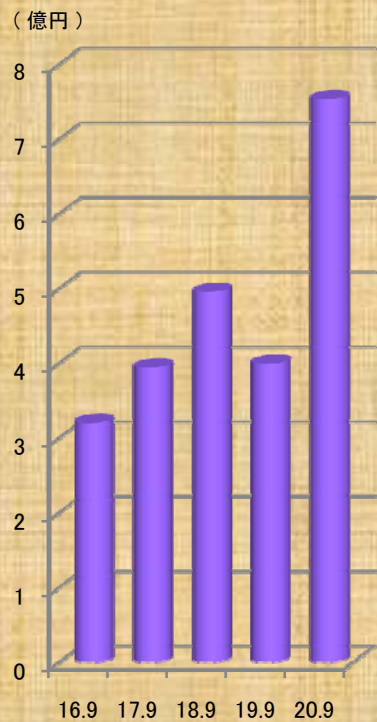


# 受注高の内訳

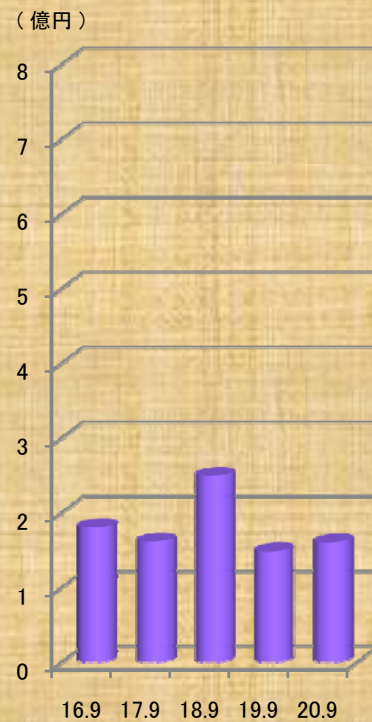
〔通信線路〕



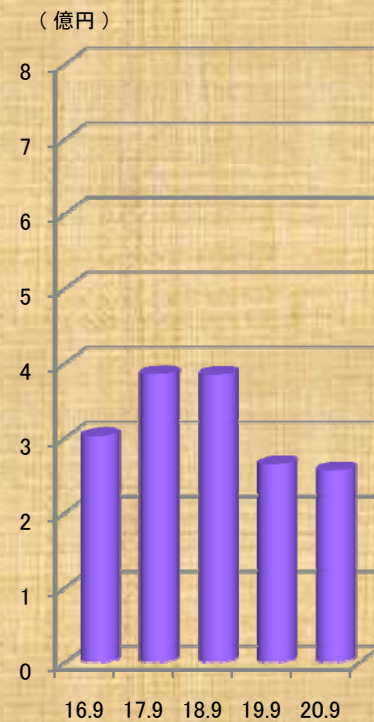
〔移動体通信〕



〔I P〕

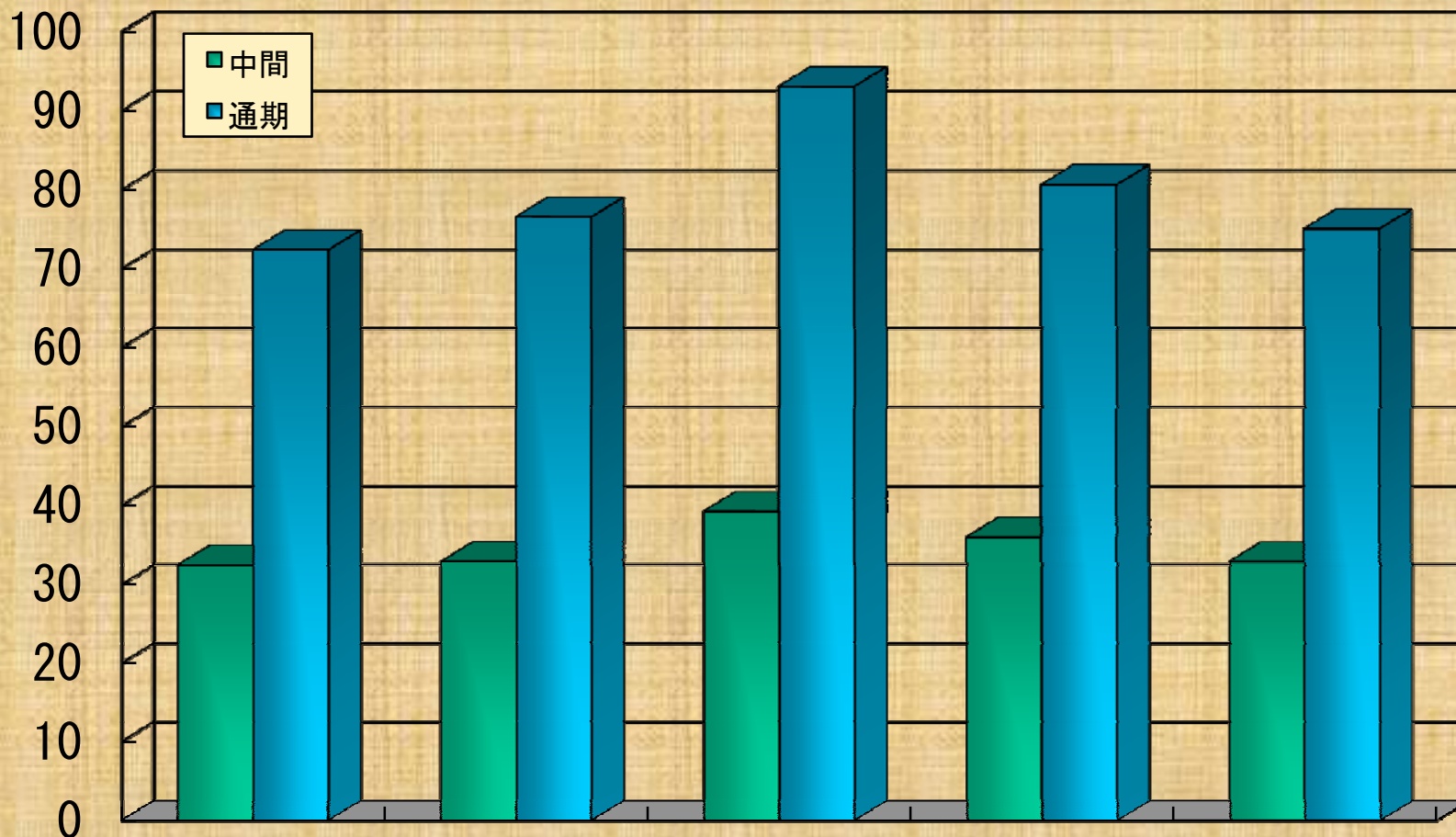


〔土木〕



# 売上高の推移

(億円)

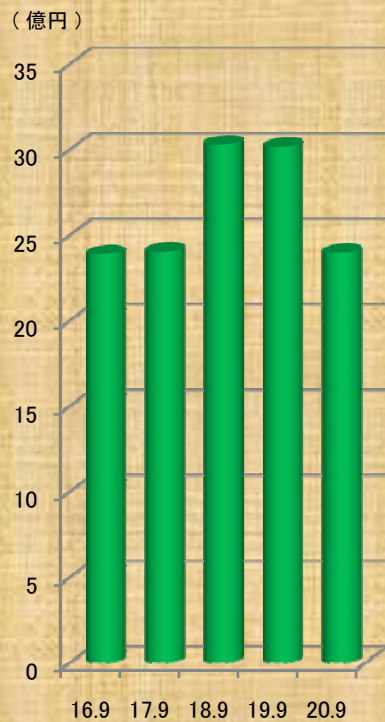


H17.3月期 H18.3月期 H19.3月期 H20.3月期 H21.3月期

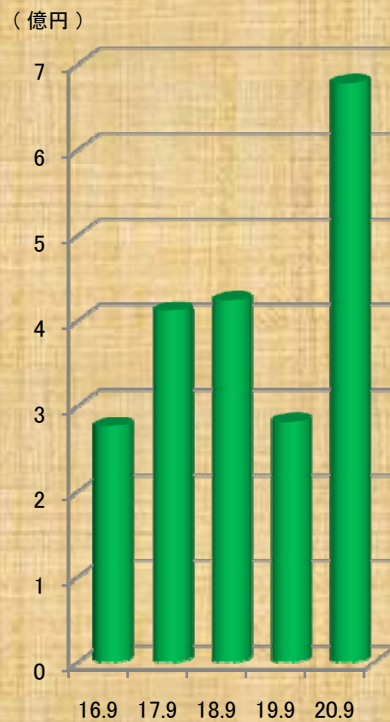
(注) H21.3月期通期は予想値

# 売上高の内訳

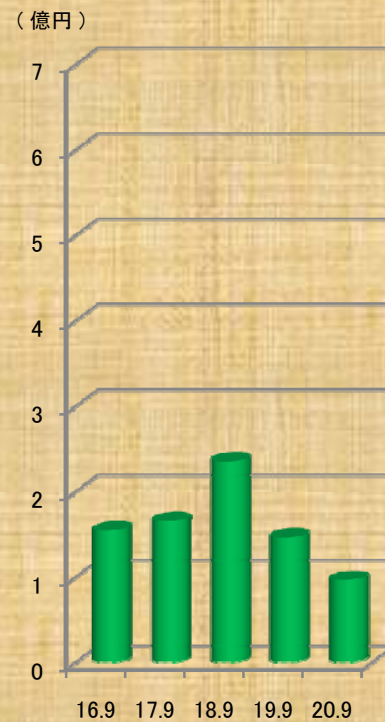
## 〔通信線路〕



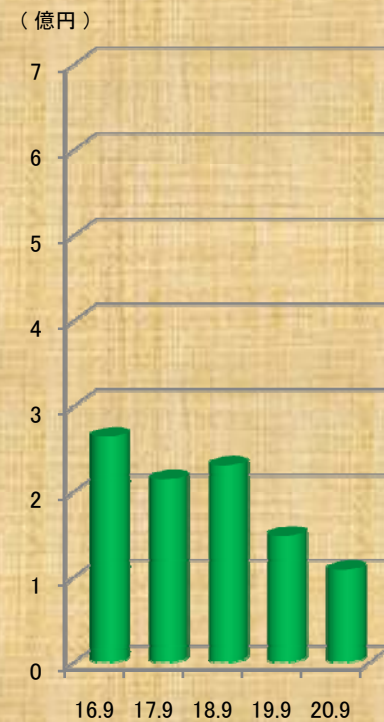
## 〔移動体通信〕



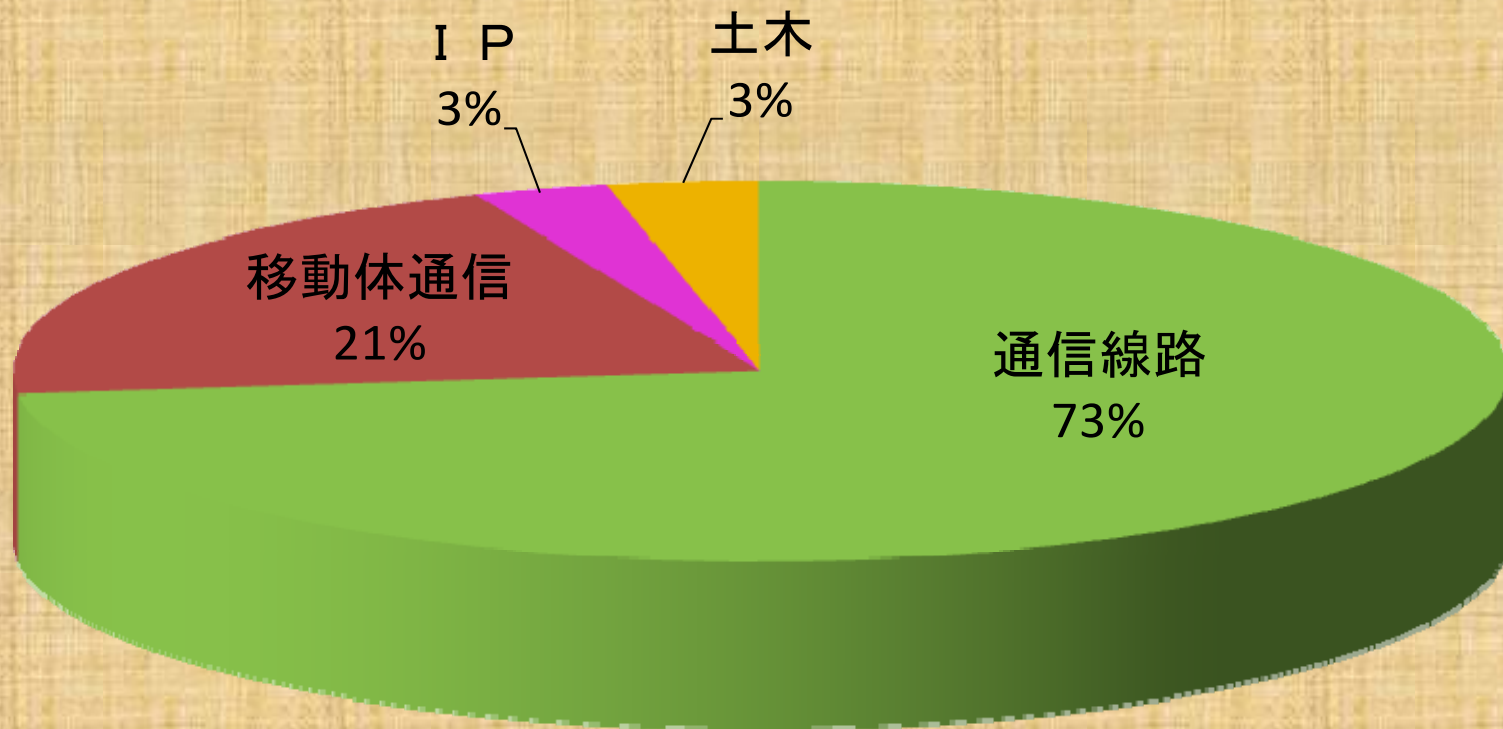
## 〔I P〕



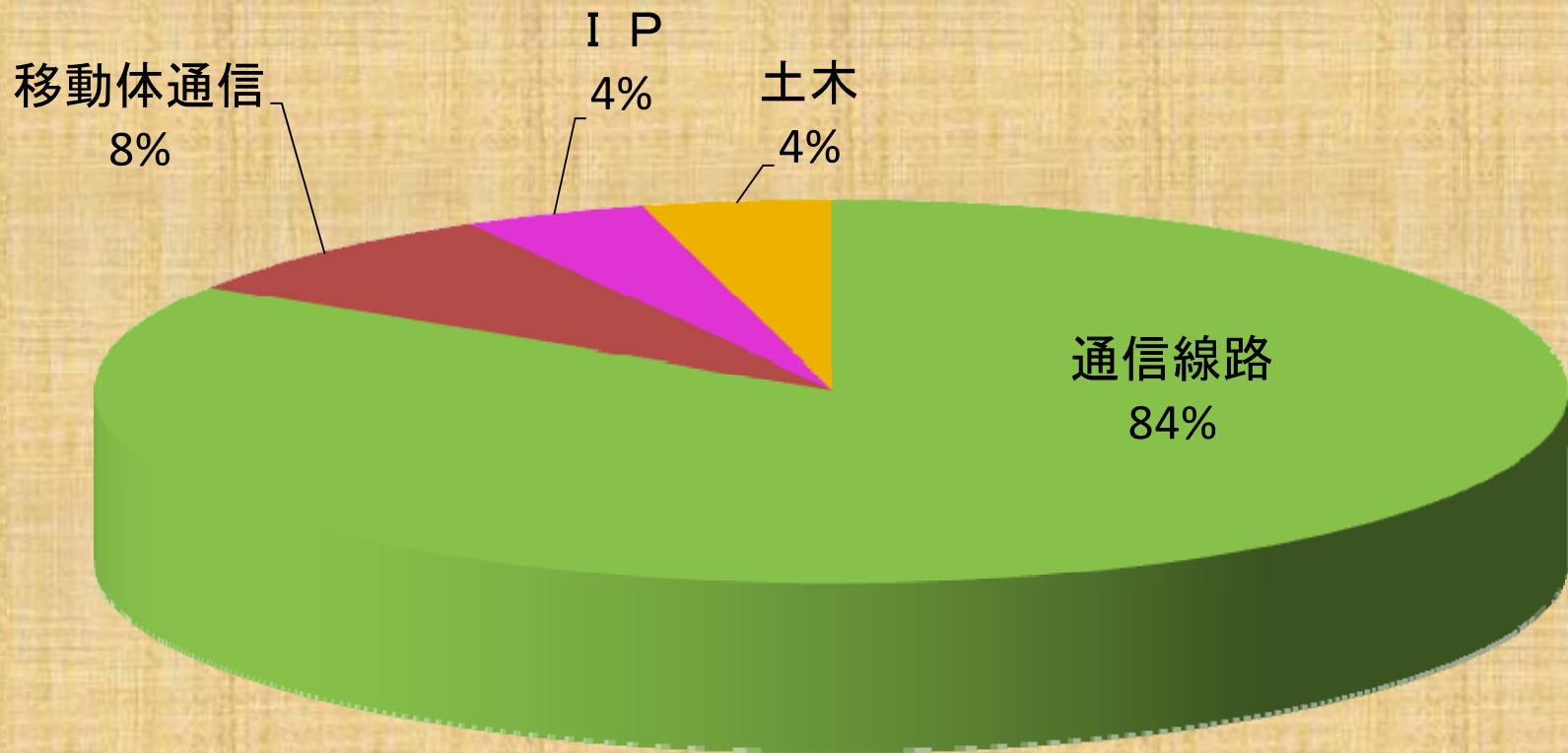
## 〔土木〕



# 売上高構成(当中間期)



# 売上高構成(前中間期)



# 事業内容

事業区分	主要製品・サービス
通信線路	通信線路工事の設計積算施工及び保守
移動体通信	移動通信設備及び各種伝送路の施工及び保守
I P	IP設備、ネットワーク設備、セキュリティーシステムの施工及び保守と関連するSE業務
土 木	通信土木工事の設計施工、CCBOX、情報BOX、上下水道、道路、管工事の積算施工

# 事業別分析

## [通信線路事業]

北関東エリアでの受注は堅調に推移したものの、郡山エリアから撤退により、受注高30億55百万円(前年同期比96.8%)

売上高については、前期からの繰越工事が少なかったこと、郡山エリアからの撤退並びに下期への繰越工事の増加により、23億94百万円(同79.5%)

## [移動体通信事業]

移動体通信工事において、アンテナ設置工事等が増加したこと及び保守工事が堅調に推移したことなどにより、

受注高 7億53百万円(前年同期比188.9%)、売上高 6億77百万円(同241.0%)

## [ I P 事 業 ]

技術革新と厳しい受注競争が展開されているなか、光伝送路工事やセキュリティシステム関連工事の受注の拡大に努める


受注高 1億60百万円(前年同期比108.1%)、売上高 95百万円  
(同65.6%)

## [ 土 木 事 業 ]

NTT通信土木工事は堅調に推移したものの、一般民需工事の受注環境は依然として厳しく、受注高 2億55百万円(前年同期比96.9%)

売上高についても、一般民需工事の減少の影響等により、1億 8百万円  
(同73.3%)

平成21年3月期  
業績予想

 東邦建株式会社

# 平成21年3月期の業績予想

(百万円)

	当期予想 (H21.3月期)	前 期 (H20.3月期)	増 減
売 上 高	7,500	7,716	△216
営 業 利 益	100	138	△38
経 常 利 益	140	184	△44
当 期 純 利 益	80	183	△103

# 株主配当の状況

## 基本方針

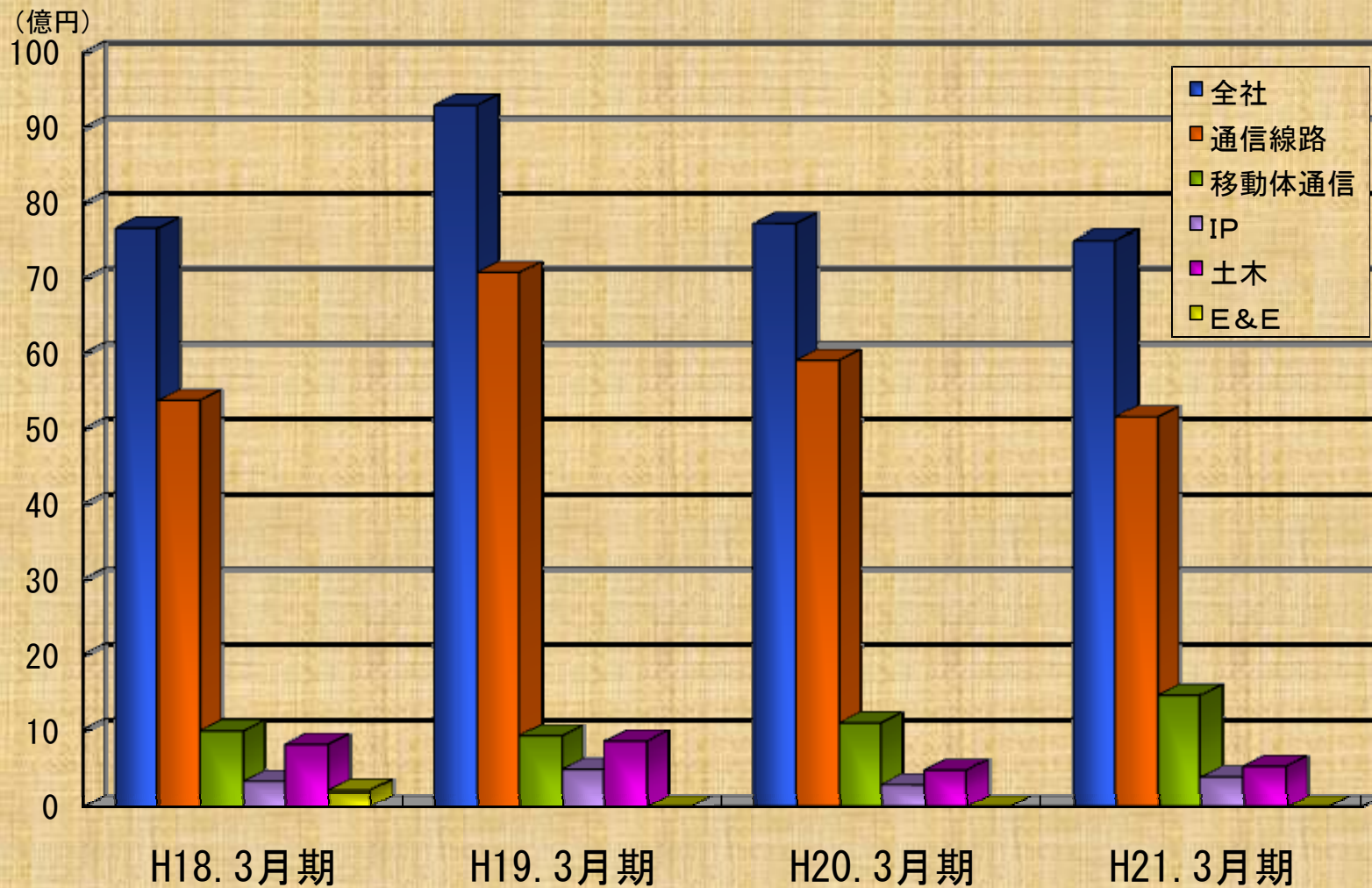
当社は、将来の事業展開を考慮しつつ、内部留保の充実により企業体質の強化をはかりながら、株主の皆さまへの安定した配当を維持することを基本に取り組んでおります。また、当社の剰余金の配当は、期末配当の年1回を原則としており、期末配当の決定機関は株主総会であります。

	H18.3月期	H19.3月期	H20.3月期	H21.3月期(予想)
1株当たり配当金	5円	5円	5円	5円

## (参考)株価の推移

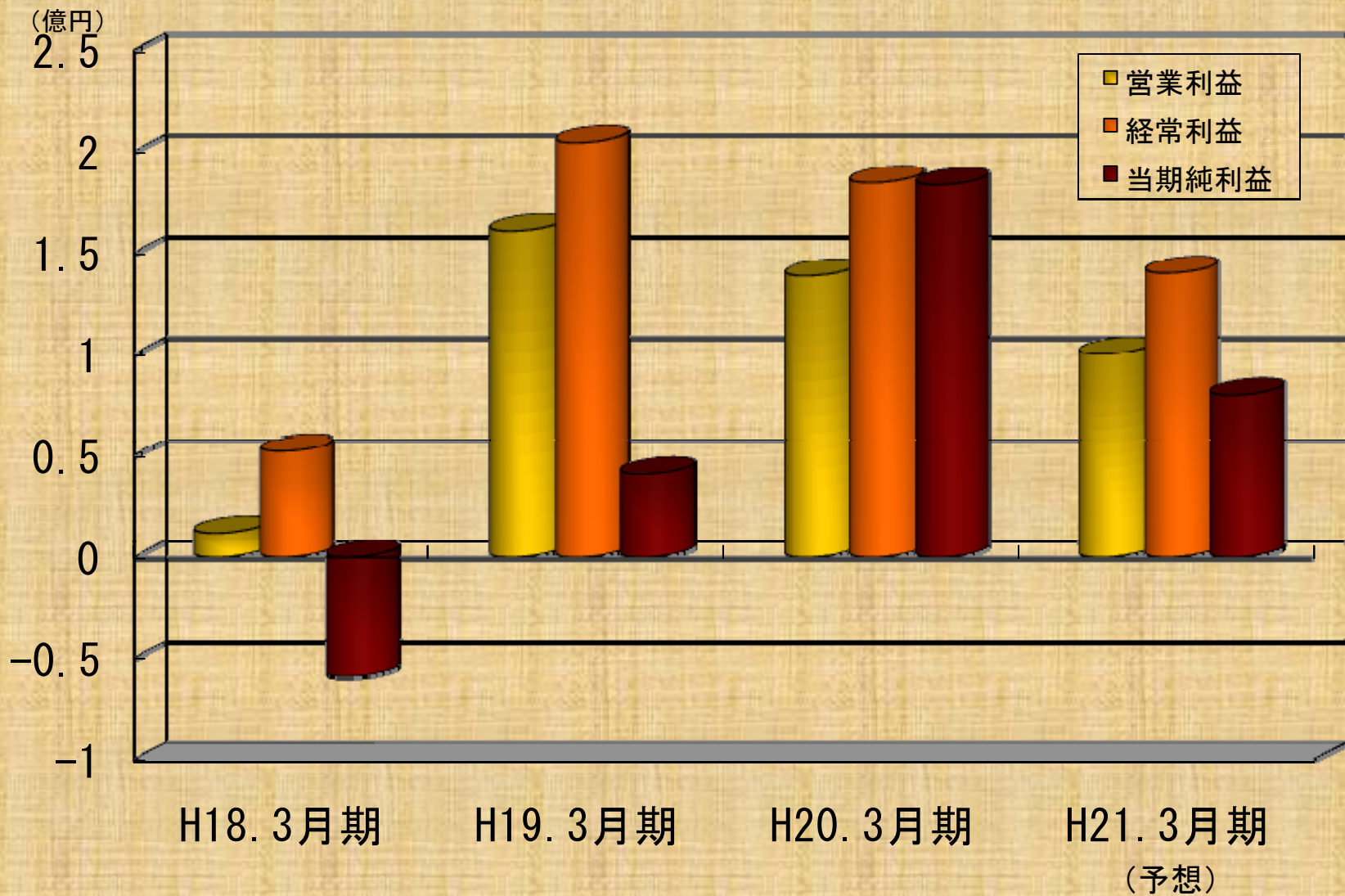
	H18.3月期	H19.3月期	H20.3月期	H20.9月期
最高(円)	400	300	193	179
最低(円)	203	180	160	136

# 売上高の推移



※ E&EはH19.3月期より、土木、IPおよびモバイルに統合。

# 利益の推移(予想)



## ご 注 意

この資料には、本資料発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化等により、実際の業績は予測と異なる可能性があります。

本資料に関するお問い合わせ

東邦建株式会社

経理企画部

TEL:0283-24-5556

E-mail:kijima@tohoken.co.jp